

# 研究テーマ：兵庫・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山情報ハイウェイ 相互接続実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20050)

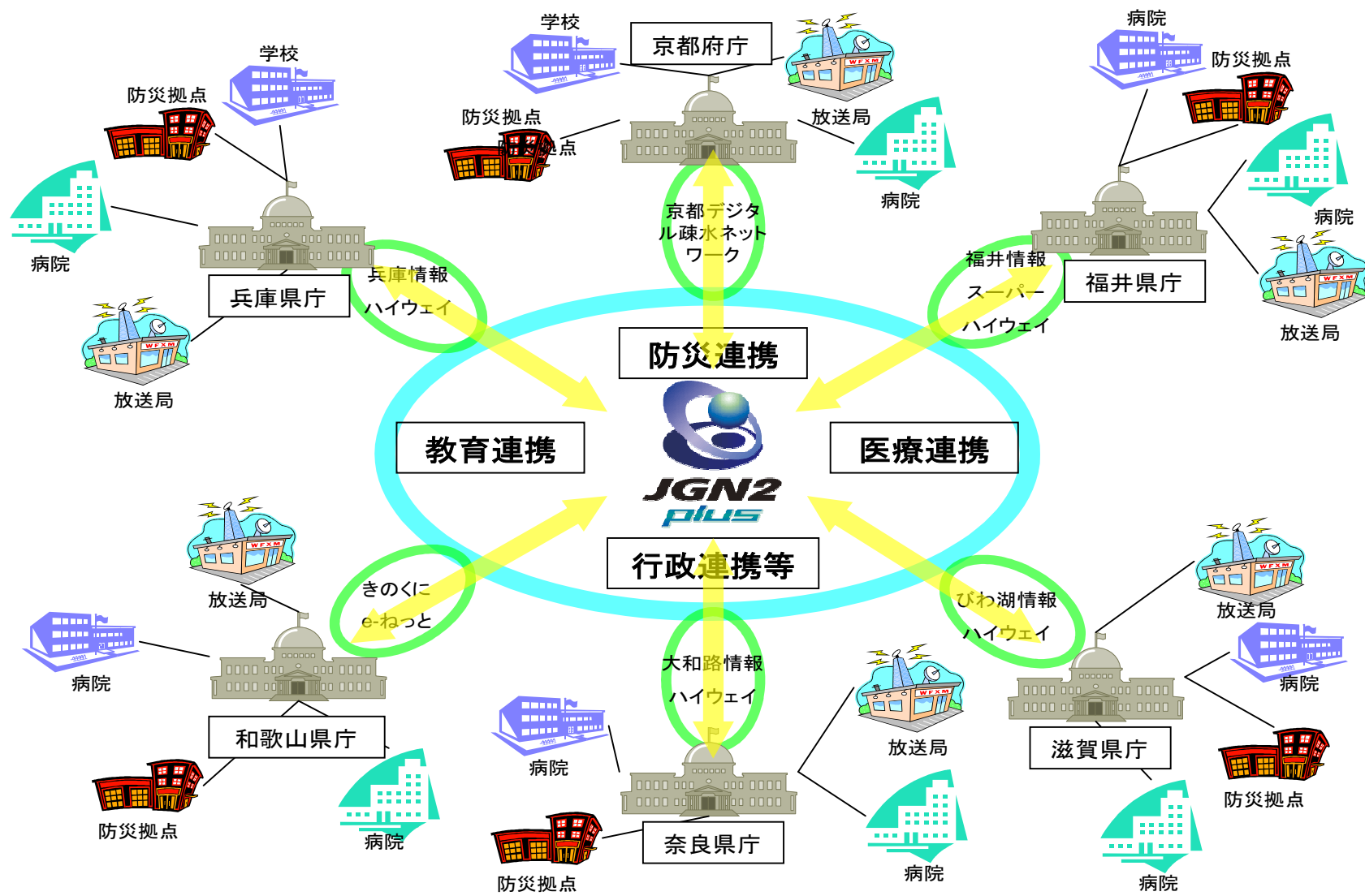
研究機関： 兵庫県情報政策課、京都府業務推進課、滋賀県情報政策課、福井県情報政策課、奈良県情報システム課、和歌山県情報政策課

研究の概要：兵庫県・京都府・滋賀県・福井県・奈良県・和歌山県の情報ハイウェイは、構築年度や設計思想の違いから通信方式や機器構成等が異なる。相互接続した異種の6府県情報ハイウェイにおいて、防災情報の共有や TCP、UDP、HTTP、IPv6、マルチキャスト等の通信プロトコルによる動画情報の効率的な転送など、通信の安定性の実証実験を行う。

研究の目的：県間の広域的な高速ネットワークの構築を目指し、兵庫県・京都府・滋賀県・福井県・奈良県・和歌山県の6府県の情報ハイウェイを相互に接続し、将来的に災害発生時の業務継続性向上のため重要業務データの相互保管が可能かどうかを実証する。

実験機器構成：

[兵庫・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山情報ハイウェイ相互接続実験ネットワーク構成図]

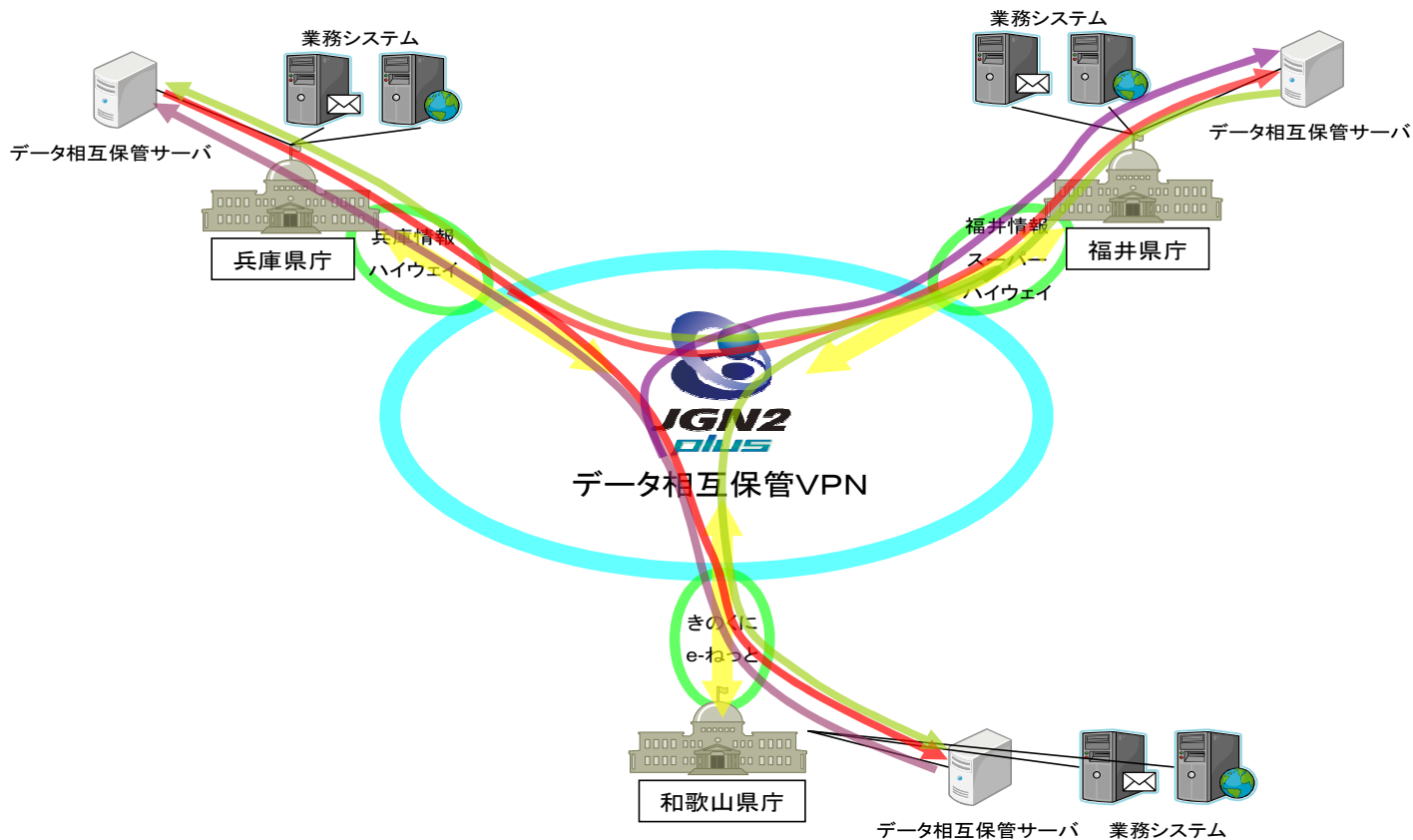


# 研究テーマ：兵庫・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山情報ハイウェイ 相互接続実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20050)

研究機関： 兵庫県情報政策課、京都府業務推進課、滋賀県情報政策課、福井県情報政策課、奈良県情報システム課、和歌山県情報政策課

[業務システムの重要データ相互保管実証実験ネットワーク構成図]



研究開発成果：行政枠を越えての取り組みで大変意義のある研究で、災害発生時に各府県の重要なシステムが停止し、データが滅失した場合、県民生活に多大な影響を与える可能性がある。

兵庫県・京都府・滋賀県・福井県・奈良県・和歌山県の情報ハイウェイを相互接続し、6府県情報ハイウェイにおいて、防災情報等の共有を実施することにより、災害発生時にも業務を継続することができる。

## プロジェクトのアピールポイント

各相互接続府県情報ハイウェイにおいて、防災情報等の共有を実施することにより、災害発生時にも業務を継続することができる。

## プロジェクトの自己評価

本格運用に近い形で実験を行うことができ、データ共有が可能かどうかについては確認できた。しかし、セキュリティの向上や他府県と情報を共有するため、制度上や運用上の問題を解決する必要があるため、実用化に向けては総合的な問題点の洗い出しを行い、解決に向けて更なる実験を重ねる必要がある。